

# 12/2(土) この世界の片隅に アニメーション

時間 ①13:00 ②18:30  
場所 文化センター 小劇場

2016年/日本/126分  
監督:片淵須直  
原作:ここの史代  
音楽:コトリンゴ  
出演(声):のん、細谷佳正、稲葉葉月、尾身美詞  
配給:東京テアトル



©ここの史代・双葉社/「この世界の片隅に」製作委員会

- 第40回日本アカデミー賞 最優秀アニメーション作品賞受賞
- 第40回日本アカデミー賞 優秀音楽賞受賞(コトリンゴ)
- 第34回日本映画復興賞 日本映画平和賞受賞
- 第41回(フランス)アヌシー国際アニメーション映画祭 長編部門審査員賞受賞

## 「この世界の片隅に うちを見つけてくれてありがとう」

すずは、絵を描くのが好きな、ちょっとぼんやりした女の子。ある日、彼女を見初めたという見知らぬ男性・周作との縁談が舞い込み、結婚することに。嫁いだ先でもすずはマイペース。小姑は少しきつい性格だけど、夫の周作は優しく、愛を育む日々。そんな日常にも少しずつ、少しずつ暗い

影が入り込む。すず達の住む広島・呉も巻き込まれていくのだった。決して忘れてはならないあの頃の記憶。その情景、生きる人々に命を吹き込んだ監督や女優のみんな。見た人の心にきっと深く残っていくことでしょう。

# コトリンゴ LIVE

「この世界の片隅に」音楽・コトリンゴさんが“ぎふアジア映画祭”で、すずさんの世界を優しく包み込みます。

## プロフィール コトリンゴkotringo

音楽家。5歳からピアノ、7歳から作曲をはじめる。甲陽音楽学院卒業、ボストン・パークリー音楽院留学。学位を取得後にはニューヨークを拠点に演奏活動開始。2006年に坂本龍一に見い出され、『こんにちば またあした』で日本デビューを飾る。現在までに9枚のソロアルバムを発表。映画、アニメのサウンドトラックや多数のCM音楽を手がけるなど、クリエイターからの支持も高い。卓越したピアノ演奏と柔らかな歌声で浮遊感に満ちたポップ・ワールドを描くアーティストとして、各方面から注目を浴びている。  
kotringo.net/



## コトリンゴLIVE専用チケットのご購入は

★「コトリンゴLIVE」チケット 500円 (限定500席) (前売・当日共) ※ぎふアジア映画祭入場券との引き換えはできません。

★チケット取扱い場所・期間	8/24(木)～8/25(金)～	11/11(土)～12/2(土)
岐阜市文化センター	先行販売! (要映画祭チケット)	一般販売!
岐阜市民会館	先行販売! (要映画祭チケット)	一般販売!
・チケットぴあ (一般販売のみ)		一般販売!

**先行販売 8月24日(木)**  
・初日は、午前9時より岐阜市文化センター来館者のみへの販売。翌25日(金)からは、岐阜市民会館でも販売。※窓口販売のみ  
・映画祭入場券1枚につき、「コトリンゴLIVE」チケットを1枚購入できます。  
※購入時に、第39回ぎふアジア映画祭入場券の提示が必要です。(半券不可)

**一般販売 11月11日(土)**  
・初日は、午前9時より、岐阜市文化センター、岐阜市民会館、チケットぴあにて販売。(ぴあは営業時間より販売)  
・チケットぴあ (ライブチケット専用:Tel.0570-02-9999 / P-コード340-007)

# 第39回 ぎふアジア映画祭 上映スケジュール

オープニング特別企画 《第39回ぎふアジア映画祭 ポスター展》 10/3(火)～10/14(土) ハートフルスクエア-G 1F (JR岐阜駅隣接)  
今年の上映作品(9作品)をポスターで紹介します!

日付	時間	作品名(舞台になった国)	上映場所
10/14(土)	14:30	ラサへの歩き方～祈りの2400km (チベット)118分	文化センター 小劇場
10/20(金)	19:00	①神なるオオカミ(中国)121分	文化センター 小劇場
10/21(土)	10:30	②神なるオオカミ(中国)121分	
10/21(土)	13:30	THE TRUTH 伝えきれなかった真実 2016(シリア)98分	15:15 ゲストトーク 久保田弘信 (監督・フォトジャーナリスト)
10/27(金)	①13:30 ②19:00	弁護人(韓国)127分	CINEX(柳ヶ瀬)
11/11(土)	10:30	①台北ストーリー(台湾)119分	市民会館 大ホール
11/11(土)	13:30	PK(インド)153分	
11/14(火)	19:00	②台北ストーリー(台湾)119分	文化センター 小劇場
11/18(土)	10:30	①歌声にのった少年(パレスチナ)98分	市民会館 大ホール
11/18(土)	13:30	①ソング・オブ・ラホール(パキスタン)82分	
11/19(日)	10:30	②ソング・オブ・ラホール(パキスタン)82分	文化センター 小劇場
11/19(日)	13:30	②歌声にのった少年(パレスチナ)98分	
11/27(月)	13:30	①時をかける少女(日本)104分	文化センター 小劇場
11/27(月)	16:00	ぼくらの七日間戦争(日本)94分	
11/27(月)	19:00	①伊豆の踊子(日本)82分	
11/28(火)	13:30	②伊豆の踊子(日本)82分	
11/28(火)	16:00	野菊の墓(日本)91分	文化センター 小劇場
11/28(火)	19:00	②時をかける少女(日本)104分	
12/2(土)	①13:00 ②18:30	この世界の片隅に(日本)126分	16:00 コトリンゴLIVE ※コトリンゴLIVE専用チケットが必要です。

※各会場ともに満席になり次第、入場をお断りしますのでご了承ください。 ※未就学児の入場はご遠慮ください。 ※開場は開演の30分前です。

## ぎふアジア映画祭ボランティア募集

ぎふアジア映画祭では、映画祭の当日の会場運営にご協力いただけるボランティアを募集しています。

**活動内容** 会場設営、受付、場内外整理、特別企画運営補助  
※9/26(火)の表方研修会(①14:00～15:00 ②19:00～20:00 ③のいずれか)を受講していただきます。

**申込方法** 所定の用紙\*に記入の上、FAXまたは郵送、窓口にて受付  
\*HPまたは文化センターにて配布しています。

**申込先** 岐阜市文化センター 岐阜市金町5-7-2 tel:058-262-6200 fax:058-262-6229

**活動期間** 平成29年10月14日(土)～12月2日(土) ※期間中、ご希望の日にちをご申告ください。

**募集メチ** 平成29年9月14日(木)

## ぎふアジア映画祭チケットガイド

平成29年8月24日(木)午前9時～(発売初日は文化センターのみの販売)

**映画チケット** (前売・当日共) 全自由席

1回券	800円
3回券	2,100円
10回券	5,000円

※3回券、10回券は切り離して複数名でもご利用いただけます。  
※12/2(土)のコトリンゴLIVEは専用チケットの購入が必要です。

**チケット特典**

CINEX(岐阜市柳ヶ瀬にある映画館)において、10/14～12/2の期間内に上映される一般上映作品は、入場券購入時に「第39回ぎふアジア映画祭」の入場券を提示することで割引金額で購入することができます(割引額200円、半券可)。ただし、他の割引との併用はできません。

**アクセス**

JR名古屋駅 新快速で約20分 JR岐阜駅  
名鉄名古屋駅 特急で約25分 名鉄岐阜駅

■映画チケット/岐阜市文化センター、岐阜市民会館、長良川国際会議場、CINEX、フィールド、チケットぴあ(Pコード:467-335)、マーサ21サービスカウンター、いしくれ珈琲、NPO法人スマイルBasket、生活協同組合コープぎふサービスカウンター(長良店・弁見店)

※岐阜市文化センター JR岐阜駅・名鉄岐阜駅から徒歩10分  
岐阜市民会館 JR岐阜駅・名鉄岐阜駅から岐阜バスにて約10～15分  
「市民会館前」「市民会館・蔵判所前」下車もしくは「岐阜市役所前」下車徒歩5分ご利用ください。



# 映 画 祭 ぎ ぶ ア ジ ア

第350回 市民の劇場

第39回 Gifu Asia Film Festival 2017

10.14(土) - 12.2(土)

ホームページ <http://gifuasia.com>

主催 / (一財)岐阜市公共ホール管理財団、岐阜市 共催 / 岐阜土地興業(株)

後援 / 岐阜県、岐阜県教育委員会、(公財)岐阜県国際交流センター、岐阜県映画協会、(独法)国際交流基金

協力 / いしくれ珈琲、アジアンティールハウス

オープニング  
特別企画

《第39回ぎふアジア映画祭》  
ポスター展

平成29年10月3日(火)~10月14日(土)  
場所:ハートフルスクエア-G 1F  
(JR岐阜駅隣接)

10/14土 ラサへの歩き方  
祈りの2400km

時間 14:30  
場所 文化センター 小劇場

2015年/中国/118分  
監督:チャン・ヤン  
出演:ヤンベル、ニマ、ツェワン  
配給:ムヴィオラ



「五体投地」を知っていますか?  
1.合掌をする 2.両手・両膝・額を大地に投げ出しうつ伏せる 3.立ち上がり、動作をくりかえして進む 4.ズルをしないこと 5.他者のために祈ること 一この約束を守りながら、チベットの小さな村から聖地ラサへ。そしてカヤス山へ。自分の身の丈分ずつ、ほぼ一年をかけて歩く11人の村人の巡礼の物語。そのシンプルな心が、私たちの心に届きます。

チベット文化講座  
「映画から読み解く  
チベットの人のびとの暮らしと信仰」

特別企画  
時間 16:45 場所 文化センター 練習室

講師 星 泉氏  
(東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所教授)

10/20金・21土 神なるオオカミ

時間 ①10/20(金)19:00  
②10/21(土)10:30  
場所 文化センター 小劇場

2015年/中国・フランス/121分  
監督:ジャン=ジャック・アノー  
出演:ウィリアム・フォン、  
ショールドウ、バーサンジャブ  
配給:ツイン



第30回中国金鶏奨 最優秀作品賞  
第5回北京国際映画祭 最優秀監督賞、視覚効果賞  
第22回北京大学生映画祭 監督賞  
この命は天のもの。青年の魂に刻まれた、草原の民の世界。そして狼たちの生きざま。

文化大革命の熱狂が渦巻く1967年。下放政策で内蒙古にやってきた北京の大学生チェンはある日、言い付けを破り近道した途中で狼に遭遇し、その威厳さに圧倒され魅せられてしまう。原作は日本でも翻訳出版されている姜戎(ジャン・ロン)の自伝的小説。「セブン・イヤーズ・イン・チベット」のフランス人監督ジャン・ジャック・アノーが再び激動の中国を舞台に壮大なスケールで描く。モンゴルの大平原を駆け抜ける本物の狼たちの躍動する姿に、私たちも魅了される。

10/21土 THE TRUTH  
伝えきれなかった真実2016

時間 13:30  
場所 文化センター 小劇場

2016年/シリア/98分  
監督:板倉弘明、久保田弘信  
製作:ASIANEWS



アフガニスタン×イラク×シリア 全てはつながっている  
この映画は、日本人ジャーナリストが見たアフガニスタン・イラク戦争、シリア内戦15年間の記録で、子どもたちにも観てほしいドキュメンタリーである。主人公はフォトジャーナリスト久保田弘信と仲間たち。戦争の記録だけでなく、その地で生きる一般市民を温かい目で見つめている。

特別企画 ゲストトーク 10/21

講演「伝えきれなかった真実」  
時間 15:15 場所 文化センター 練習室

講師 久保田弘信氏(監督・フォトジャーナリスト)

プロファイル  
大塚市出身。21世紀に起きた2つの大戦を取材。アフガニスタン戦争では多くのジャーナリストが首都カブールに向かう中、ただ一人、タリバンの本拠地カンダハルを取材。イラク戦争では攻撃されるバグダッドから戦火の様子を日本のテレビ局にリポートした。2010年戦場カメラマン渡辺陽一氏と共に「笑っていいとも!」に出演。2016年には外国人ジャーナリストとして世界でただ一人イラク北部でのマフムール奪還作戦に従軍。  
「フォトジャーナリスト  
久保田弘信写真展」  
場所 文化センター 小劇場ロビーにて

ぎふアジア映画祭は、ボランティアスタッフ(G-free)と共に、選定・運営を行っています。

10/27金 弁護人

時間 ①13:30 ②19:00  
場所 CINEX(柳ヶ瀬)

2013年/韓国/127分  
監督:ヤン・ウンク  
出演:ソン・ガンホ、イム・シワン、キム・ヨンエ  
配給:彩プロ、スプリングハズカム



©2013 Next Entertainment World Inc.&Withus Film Co.Ltd. All Rights Reserved.

第35回青龍映画賞 最優秀作品賞、男優主演賞、女優助演賞、  
チュンジュンウォン人気スター賞(イム・シワン)受賞  
第50回百想芸術大賞 映画部門大賞(ソン・ガンホ)作品賞 新人監督賞受賞  
第51回大鐘賞 助演女優賞、脚本賞、新人監督賞、  
ハナ金融グループ人気賞(イム・シワン)受賞

罪なき若者を救えるか!? 超俗物な弁護士がいま立ち上がる!  
80年代、軍事政権下の韓国。ソン・ウンクは釜山で一番稼ぐ弁護士。金欲みれの彼だったが、行きつけのクッパ屋の息子が公安当局に逮捕されたとき、国家権力との無謀な闘いに挑む。名優ソン・ガンホ演じる主人公は故盧武鉉元大統領がモデル。実際の事件を基にした怒涛の社会派エンターテイメント。激動の韓国社会を読み解く鍵がここに!

11/18土・19日 歌声にのった少年

時間 ①11/18(土)10:30  
②11/19(日)13:30  
場所 市民会館 大ホール

2015年/バレスチナ/98分  
監督:ハニ・アブ・アサド  
出演:タウフィーク・バルホーム、ナディーン・ラバキー、ムハンマド・アッサーフ  
配給:アルナトロス・フィルム



©2015 Idol Film Production Ltd/MBC FZ LLC KeyFilm/September Film

亡き姉の夢を叶えるためガザの壁を越え、歌手になった少年の実話「オマールの壁」に続くハニ・アブ・アサド監督の最新作です。  
パレスチナのガザ地区。住民は紛争のため地区から一歩も出ることを許されない。「あなたの声は最高」という姉の言葉に押されムハンマドはオーディション番組に出場することを決意!!彼の人生の扉が開かれていく。ふんだんに流れるアラブ音楽も必聴です。「人は希望を失えばすべてを失う。どんなに困難な状況でも夢や希望は持ち続けられる」

11/11土 PK

時間 13:30  
場所 市民会館 大ホール

2014年/インド/153分  
監督:ラージクマール・ヒラニ  
出演:アーミル・カーン、  
アナシュカ・シャルマ、  
スシャント・シン・ラージプート  
提供:日活



©RAJKUMAR HRANI FILMS PRIVATE LIMITED

第9回東京新聞映画賞受賞  
ラージクマール・ヒラニ監督と主演アーミル・カーンの名コンビで送るSFラブコメディ。  
地球に調査ミッションとしてインドに降り立ったPKは、大きなラジオを友に【神様】を探して旅をする。途中、テレビ局で働く女性ジャギーに出会う。が、彼女には忘れられない恋人がいた。社会の偏見や宗教が渦巻く中で悩み苦しむ彼女を見つめながら、次第に惹かれていくPK。彼のその姿に、笑ひあり涙あり。あなたを幸福感で満たしてくれます。

11/18土・19日 ソング・オブ・ラホール

時間 ①11/18(土)13:30  
②11/19(日)10:30  
場所 市民会館 大ホール

2015年/アメリカ/82分  
監督:シャルミン・ウバード=チナイ、アンディ・ジョーケン  
音楽:出演:サッチャル・ジャズ・アンサンブル、ジャズ・アット・リンカーンセンター  
withウインド・マルサリス  
配給:サンリス、ユーロスペース



©2015 Ravi Films, LLC

2015年トライブベッカ映画祭ドキュメンタリー部門  
観客賞次点受賞 ワールドプレミア  
2016年ロンドン・インド映画祭観客賞受賞

パキスタン伝統音楽×ニューヨーク・ジャズ?!  
ブルーベックも驚嘆!大胆な挑戦が奇跡を起こす。  
豊かな芸術の文化歴史を持つパキスタンの都市、ラホール。90年代以降、過激なイスラーム原理主義の影響で音楽文化は衰退。伝統音楽家たちは転職を余儀なくされた。「このままではパキスタン音楽が消えてしまう」危機感を募らせた彼らは再起をかけてジャズに挑戦。世界に打って出た!映画終盤、思わず立ち上がりスタンディングオベーションを送ってしまう、心震えるコンサートをぜひ劇場で。

「特別上映会」恋スル名作  
Kamela Kamuhoda Ajigadesu

11/11土・14火 台北ストーリー

時間 ①11/11(土)10:30  
②11/14(火)19:00  
場所 ①市民会館 大ホール  
②文化センター 小劇場

1985年/台湾/119分  
監督:エドワード・ヤン  
出演:ホウ・シャオシェン、  
ツァイ・チン、  
ウー・ニェンチェン  
配給:オリオフィルムズ  
音楽:ヨーヨー・マ



©GH productions Inc. Tous droits reserves

この街は、そしてわたしたちは、これからどこに向かってゆくのだろう

1985年/台湾/119分  
監督:エドワード・ヤン  
出演:ホウ・シャオシェン、  
ツァイ・チン、  
ウー・ニェンチェン  
配給:オリオフィルムズ  
音楽:ヨーヨー・マ  
これまで来場された方からのリクエストが多かった作品群から、1作品を上映します。  
名作映画をスクリーンでお楽しみください。

優秀映画鑑賞推進事業(プログラム)

11/27月・28火 時をかける少女

時間 ①11/27(月)13:30  
②11/28(火)19:00  
場所 文化センター 小劇場

1983年/角川春樹事務所/カラー/ビスタ/104分  
監督:大林宣彦  
出演:原田知世、高柳良一、  
尾美としのり



この映画でスクリーン・デビューを果たした原田知世は、この作品により葉師丸ひろ子と並ぶ角川のトップ・スターとなった。映画は、筒井康隆のSF小説を原作に、ある日突然時間を超える能力を身に付けてしまった女子高校生の恋愛を描いている。大林宣彦監督は登場人物が時間を巻き戻す際に「コマ落とし」などのテクニクを縦横に使い、82分映画出身ならではの映像化を施している。ロケ地には、大林監督の出身地である広島県尾道市や竹原市の古い街並みが選ばれた。

11/27月 ぼくらの七日間戦争

時間 16:00  
場所 文化センター 小劇場

1988年/角川春樹事務所/カラー/ビスタ/94分  
監督:菅原比呂志  
出演:宮沢りえ、菊池健一郎、  
賀来千香子



宗田理の同名小説の映画化。厳しい校則に縛られ、窮屈な学校生活を強いられる中学生。校門の前には教師が立つて服装検査だ。無断の持ち物検査に怒った1年生の男子グループがついに無断欠席、廃工場に立てこもった。差し入れに訪れた女生徒も参加し、教師と親に対する反抗が始まった。宮沢りえの映画デビュー作である。監督の菅原比呂志は九州国立大学で映画製作と演出を学んだ後、角川映画の助監督、プロデューサーを経てこの作品で監督デビューした。

11/27月・28火 伊豆の踊子

時間 ①11/27(月)19:00  
②11/28(火)13:30  
場所 文化センター 小劇場

1974年/東宝映画=ホリプロ/カラー/シネマスコープ/82分  
監督:西河克己  
出演:山口百恵、三浦友和、  
中山仁



田中絹代と大日友三が主演した、五所平之助監督の松竹作品(1933)を第1回として、これまでに全部で6回映画化されている。踊り子を演じたのは、美空ひばり、鶴岡晴子、吉永小百合、内藤洋子らで、いずれもその時代の青春スターであった。西河克己監督にとっては、1963年の吉永小百合主演作品に次いで2度目の映画化であった。山口百恵は1970年代のアイドル歌手で、絶大な人気を誇っていた。相手役となる一高生役は公募され、まだ無名だった三浦友和が抜擢された。

11/28火 野菊の墓

時間 16:00  
場所 文化センター 小劇場

1981年/東映=サンミュージック/カラー/ビスタ/91分  
監督:澤井信一郎  
出演:松田聖子、桑原正、村井国夫



歌人として知られる伊藤左千夫の原作小説を、詩情豊かに描いた澤井信一郎監督の第1回監督作品。旧家の次女と同志である民子と政夫、若い二人のほのかな恋と周囲の無理解による別れ、そして民子の死と続く哀切なこの物語は、1955年に木下惠介監督が映画化した『野菊の如き君なれば』が有名である。本作はその3回目の映画化。澤井監督は当時人気絶頂の松田聖子から「アイドル歌手」の奔闘を見事にぬぐいさり、彼女の素顔の魅力を導きだしている。

主催:(一財)岐阜市公共ホール管理財団/岐阜市/文化庁/東京国立近代美術館フィルムセンター 特別協賛:片木利之助 協力:(株)オーエムシー ※平成29年度優秀映画鑑賞推進事業の作品『伊豆の踊子』『野菊の墓』『時をかける少女』『ぼくらの七日間戦争』は、1枚のチケットで2作品ご鑑賞いただけます。